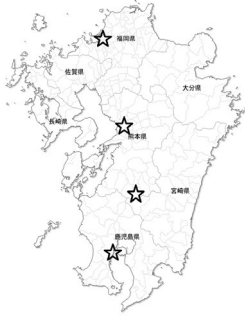


九州正教会だより 第40号



(人吉・鹿児島・熊本・福岡)

2023年1月1日発行

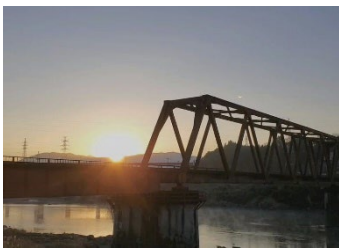
発行人：司祭グリゴリイ水野 宏

〒868-0081 熊本県人吉市上林町979-5 人吉司祭館

TEL / FAX 0966-24-7861

mail ocj.kyushu@gmail.com

ホームページ <https://www.ocj-kyushu.com/>



新年の抱負「信仰の継承」

司祭グリゴリイ 水野 宏

(写真・球磨川の向こうに昇る朝日)

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

九州に着任して 4 回目のお正月を迎えました。「一年の計は元旦にあり」と言いますが、その意味では私の新年の抱負は「正教家庭の信仰の継承のために尽くす」ことです。

年末恒例の「流行語大賞」の候補を見ていたら、「宗教 2 世」という文言が入っていました。この「宗教 2 世」という言葉は以前からありましたが、元首相襲撃事件をきっかけに急に広まったように思います。これは本来、親が特定の宗教にのめりこんだ結果、家庭が経済的に困窮したり、育児放棄になったり、理不尽で非常識なしつけ（テレビや漫画を見ることの禁止、修学旅行などで寺や神社に行くことの禁止、友達の誕生日会やクリスマス会などへの参加の禁止等）を強いられている子弟を指す言葉です。

要するにカルト宗教と呼ばれる、独善的・狂信的な一部の宗教団体が起こしている社会問題ですから、本来「カルト 2 世」と呼ぶべきだと思いますが、殊更に「宗教 2 世」と呼ぶことに、「およそ宗教というものは非科学的で世の中に要らない、むしろ邪悪なもの」という、現代社会の人々の内心の声が聞こえるような思いがします。

わが正教会（Orthodox Church）は主の降誕以来 2 千余年、伝統的なキリスト教、すなわちキリストを通して示された神の愛と赦しと救いの教えを文字通り正しく継承してきました。そして日本でもニコライ大主教以下、多くの教役者の努力で 150 年にわたり、信仰が 2 世どころか先祖代々受け継がれてきたのです。宗教だからといって何でも一緒にして、毛嫌いするのはおかしいと言いたいです。

しかし、九州では代々の信徒家庭なのに家族が洗礼を受けていない、つまり信仰の継承が途絶えかけている家庭が少なくないのも事実であり、司牧者として心が痛みます。

新年にあたり、私たちの正教会の信仰が人の心とたましいに与える素晴らしい力を伝え、九州の信徒家庭での信仰の継承のために努める一年として参ります。